

経済・金融 フラッシュ

中国経済：9月の製造業PMI ～楽観度はやや低下も、経済の順調な改善 を示す好結果

経済研究部 上席研究員 三尾 幸吉郎

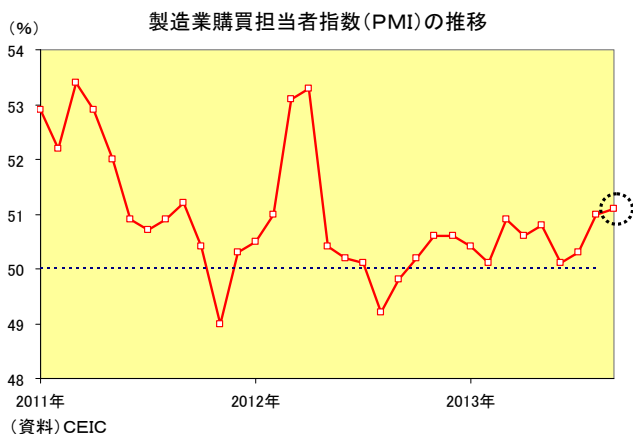
TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

- 9月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）は51.1%と8月の51.0%から0.1%ポイント上昇、拡張・収縮の分岐点となる50%を12ヵ月連続で上回った。分類指数を見ると、30%の比重を持つ新規受注指数の0.4%ポイント上昇と、25%の比重を持つ生産指数の0.3%ポイント上昇が総合指数を改善させた主因であった。また、その他の指数では、新規輸出受注指数が50.7%と前回より0.5%ポイント上昇、完成品在庫指数は47.4%と前回より0.2%ポイント低下、生産経営活動予想指数は58.4%と前回より1.0%ポイント低下した。
- このように、楽観度はやや下がったものの、内外の受注改善（需要増）を牽引役としたPMIの上昇は続いており、在庫圧縮の動きも途切れていないと見られることから、経済の順調な改善を示す好結果だったと思われる。

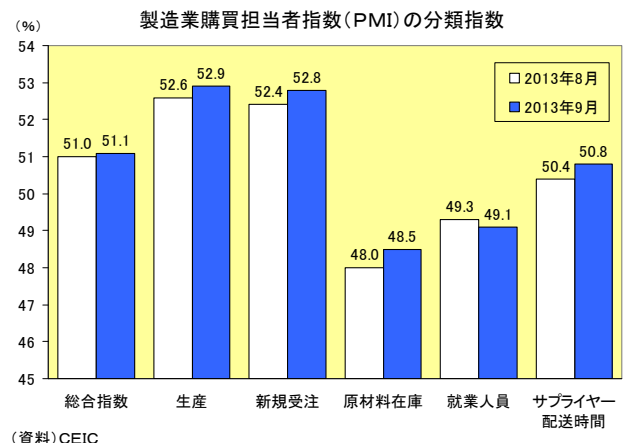
【 総合指数は0.1%ポイント上昇 】

10月1日（火）、中国物流購買連合会と国家统计局サービス業調査センターは9月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）を発表した。それによると、9月の総合指数は51.1%と8月の51.0%から0.1%ポイント上昇、7月以降3ヵ月連続で前月を上回る結果となった。また、拡張・収縮の分岐点となる50%を上回る水準を12ヵ月連続で維持した（図表-1）。

（図表-1）



（図表-2）



分類指数を見ると（図表-2）、生産指数は前回の52.6%から52.9%へ0.3%ポイント上昇、新規受注指数は前回の52.4%から52.8%へ0.4%ポイント上昇、原材料在庫指数は前回の48.0%から48.5%へ0.5%ポイント上昇、就業人員指数は前回の49.3%から49.1%へ0.2%ポイント低下、サプライヤー配送時間指数（逆指数）は前回の50.4%から50.8%へ0.4%ポイント上昇（悪化）した。このように9月は、30%の比重を持つ新規受注指数の0.4%ポイント上昇と25%の比重を持つ生産指数の0.3%ポイント上昇が、総合指数を改善させた主因であった。

【 経済の順調な改善を示す好結果 】

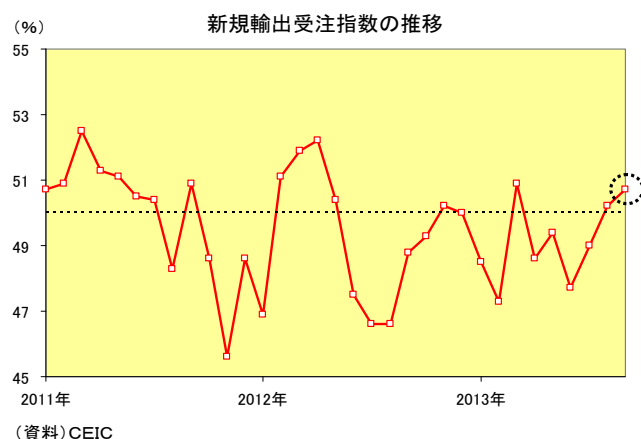
その他の指数の動きを見ると、輸出の先行指標として注目される新規輸出受注指数も前回の50.2%から50.7%へ0.5%ポイント上昇、2ヵ月連続で50%を上回った（図表-3）。

また、在庫関連では、完成品在庫指数が47.4%と前回の47.6%を0.2%ポイント下回って6ヵ月連続の50%割れとなり、原材料在庫指数も8ヵ月連続の50%割れとなっていることから、在庫圧縮の動きは9月も継続したようだ（図表-4）。

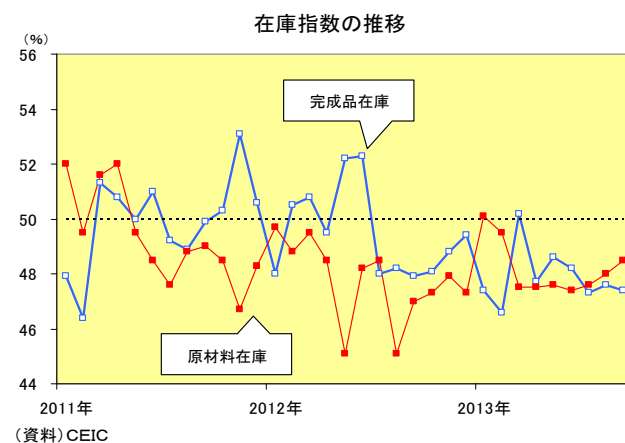
他方、今後3ヵ月以内の生産経営活動に対する楽観度を示す生産経営活動予想指数は58.4%と前回の59.4%を1.0%ポイント下回り、6月の54.1%を底とした改善傾向にはあるものの、楽観度はやや下がった（図表-5）。

このように、楽観度はやや下がったものの、内外の受注改善（需要増）を牽引役としたPMIの上昇は続いており、在庫圧縮の動きも途切れていないと見られることから、経済の順調な改善を示す好結果だったと思われる。

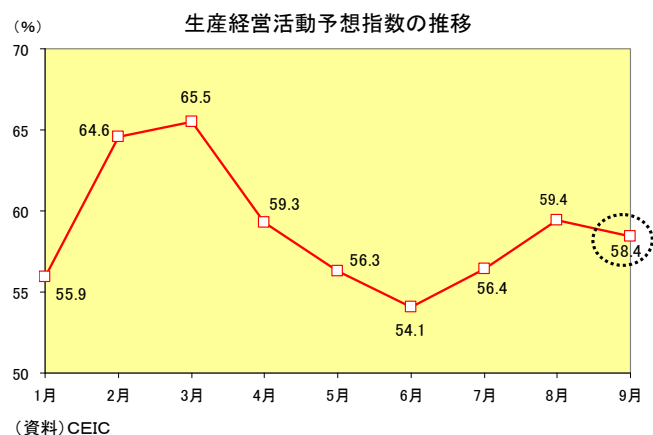
（図表-3）



（図表-4）



（図表-5）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。